



ス
ス
メ
「
薦
・
奨
・
勸
・
進
」

目次

【薦】 なかつの記憶 4~11

- ・ 光 時代の先駆者たち
- ・ 礎 城下町なかつの誕生
- ・ 宝 未来へ残したいもの

【奨】 なかつの心 12~19

- ・ 春 山笑（わら）ふ
- ・ 夏 山滴（したた）る
- ・ 秋 山粧（よそお）ふ
- ・ 冬 山眠（ねむ）る

【勸】 なかつの和 20~25

- ・ 地域のちから
- ・ 海の恵み
- ・ 大地の恵み
- ・ 湯ったり湯めぐり
- ・ わが街自慢「なかつ」

【進】 なかつの羅針盤 26~44

- ・ 第四次中津市総合計画
- 守る （医療・環境・都市基盤）
- 育む （保健・福祉・教育）
- 創る （産業・観光）
- 進める（協働）
- ・ 議会・行政 45
- ・ なかつの変遷（年表） 46~52

『やんさ祭り』（耶馬溪町大野）

毎年12月2日の寒中の夜に、津民地区大野八幡神社で行われる勇壮な裸の餅つき祭りです。

長岩城主野中弘道（18代）が応永元年（1391年）鎌倉鶴ヶ岡八幡宮の神霊を勧請したとき、野中の若侍33人が3升3合3勺のもち米を禪姿で、神官のお祓いを受け「やんさ！やんさ！」のかけ声で、鏡餅をついて神前に供えたのが始まりです。